



平成 21年10月台風第18号
津山町久保地区

日頃の勤労をたたえ 優良勤労表彰を受賞

宮城県手をつなぐ育成会は、知的障がい者の自立と社会参加の促進を目的に、優良で勤労な知的障がい者を表彰しています。本年度表彰された2人を紹介します。



木村 あきみ さん
(迫町江合・36歳)
ジョイフル宮城佐沼店 勤続7年



佐々木 まり子 さん
(迫町萩洗・47歳)
ユニクロ佐沼店 勤続15年

そのときに 備える

特集

近年、台風に伴う大雨や局地的な豪雨などによる災害が全国で増えています。
8月から10月は東北地方に接近する台風が特に多く、降水量も多くなる時期です。
今回は、災害から身を守るための行動について、今できること、日頃からの備えを考えます。

木村さんは、2012年12月に入社し、野菜のカットやスライスの仕込み、食器類の洗浄、店内の清掃を担当。
「嫌な業務はなく、担当していることが好きです。仕事では店内の汚れなど、衛生面に特に気を配っています」と責任感をもって業務に当たっています。
安田和礼(あんだわれ)店長は「木村さんはとにかく真面目。嫌なこともあると思います

が、顔に出さず、自分で仕事を見つけてやってくれます。こんなに長く勤めてくる人は少ない。特に障がい者雇用の場合、刃物を扱う仕込みまでできるのは木村さんだけ。今では職場になくはならない存在」と信頼を置きます。
木村さんは「今回の受賞がゴールなのではなく、好きな仕事を続けられるようこれからも頑張る」と目を輝かせます。

佐々木さんは、2005年9月に入社し、店舗入口の清掃や、商品の陳列業務などを担当。
店長代行の佐藤美加(さとうみか)さんは「お客さんへの声掛けや案内などを積極的にしてくれています。決められた仕事だけでなく、他のことも率先して取り組んでくれるので、みんな助けられています」と話します。
商品が季節ごとに入れ替わり、いろんなタイプの洋服が並ぶ中、洋服好き

な佐々木さんは「今度はこの服を着てみよう」と考えるのが好きです」と楽しそうに話します。
佐々木さんの楽しみは、休日にお兄さんと映画を観に行くこと。映画を見ながら洋服のセンスを磨いています。
佐々木さんは「今回の受賞は、二上(にがみ)店長をはじめ、職場の皆さんが支えてくれたおかげです。これからも休まず出勤して頑張ります」と意欲的に話しました。